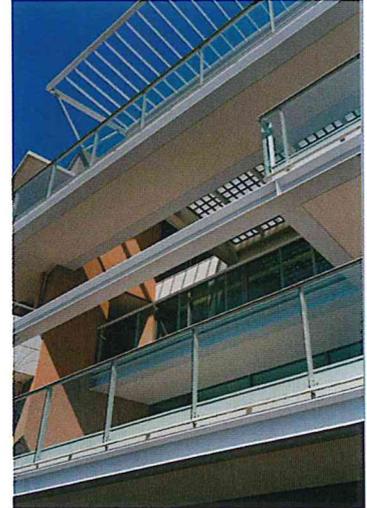
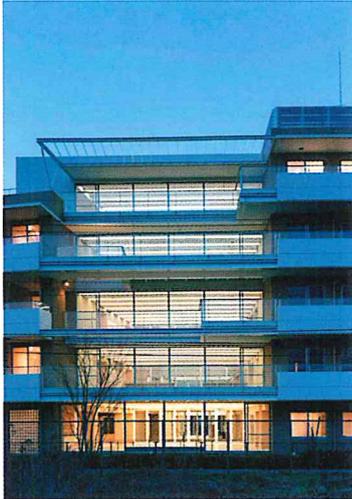


開設10周年記念特集

## マザアス日野10年の歩み



### マザアス日野

- 理事長 施設長あいさつ
- 日野市社会福祉協議会祝辞
- マザアス日野家族会祝辞
- 職員奮闘記
- 職員研究発表会



### マザアス東久留米

- 特養ユニット懇談会
- 職員研究発表会

## ごあいさつ

### あれから10年

理事長 高原敏夫

平成6年10月18日法人認可を得て、東久留米の事業が開設されてまもなく、日野市に於ける事業の話が浮上してきました。

「足固めをしてから次の展開を」という議論の中で、不安を抱えながらの出発でありました。当初の事業計画の書き出しに「マザアス日野は、市内二番目の特別養護老人ホームとして、大いなる夢を抱きつつ平成11年5月1日より新たな事業を展開する」とありました。基本方針を見ると「利用者の人間性を尊重し、利用者が安心して生活をできるように努めることをすべての働きの中心とする。職員は学ぶ姿勢を保ち、利用者と共に生きるという理念を実行に移す努力を重ね、自分の成長を望む。職員は介護の知識技術の習得に励みつつ、施設の健全な環境の確保につとめ、明るく暖かい家庭的なホームを作る」となっています。

10年の節目を迎えて、その歩みを振り返ってみると、職員が着実に努力してきた結果を見ることができます。しかし、この歩みは職員だけでなく、利用者とその家族、地域の方々、行政関係者の指導、支援と協力があったことを忘れてはなりません。

二宮尊徳は「それ遠きをはかる者は、百年のために杉苗を植う」と云ってます。事業の継続、人材育成には促成は効きません。早く種を蒔いて、じっくり育てあげることが大切です。立派な杉の木にするために、共に力を合わせていきたいものであります。

### ○ 関係性の再構築に挑む施設でありたい

マザアス日野施設長 今澤隆一郎

10年前の記録を紐解くと、特養はオープンから2か月後の6月末までに100床が満床になり、デイサービスも1日30名の利用者を受けていることが職員全体会議で報告され、皆で目標達成を喜びながらも、責任の重大さを痛感させられていると記されています。新しいことにたち向かおうとする希望とともに良いサービスを提供したいという開設時の熱い思いを改めて感じとることが出来ます。

介護保険制度が定着した今日でも現状に満足せずに、より利用者の側に立ったサービスを担っていききたいという職員の思いは何ら衰えるところはありません。この制度があまねく介護を必要とする人のもとに届けるために一定の役割を果たしてきたことは評価できるものですが、本当に利用しやすいものになっているかどうか、または人間の尊厳が守られながら安心な仕組みとして機能しているかということでは、まだまだ私ども福祉の現場にいる者が頑張るべきことが多いと言えましょう。そもそも、人は自分が住み続けてきた場所で、多くの関係を築き上げた人達と共に暮らす中で、自分の人生を全うしたいと願うものでしょうか。ただ、そう願っても否応なしに希薄になっていく現実があります。福祉がどこまで支援し関係性を再構築していくことが出来るのかということが、真に求められていると考えます。私どもが提供させていただいているサービスを限りなく一体的に関係づけ、また、もっと関連機関との連携を深めるなかで高齢者が安心して生活し続けることができよう施設をあげて頑張りたいと思います。皆さまの変わらぬご支援とご指導をお願いする次第です。

## 開設十周年を祝す

日野市社会福祉協議会会長  
理事 福島敏雄

マザアス日野が開設10周年を迎えました。私は日野市社会福祉協議会会長として、また社会福祉法人マザアスの理事としてほぼ同じ期間ともに歩んで参りました。開設当初は運営にあたって東京都の指導を受けることもあり、必ずしも順調とはいえませんでした。しかしこれらの課題も今澤施設長はじめ職員の勉強と努力で克服し、日野市当局はもとより多くの市民・ご利用者からその存在を評価され感謝されるに至ったことは誠に喜ばしいことであり、10周年を心からお祝い申し上げます。

設立された翌年に介護保険制度が導入され福祉の仕組みも大きく変わりました。そうした中であってマザアス日野は特別養護老人ホームとして100人のご利用者に奉仕すると同時にデイサービス・ショートステイの充実を進めてきました。加えて多摩平にグループホームを、昨年は南平に小規模多機能施設も開設しました。高齢社会の中にあって地域が必要とする施設の建設に積極的に取り組んできたことは大いに評価されるものであります。さらに日野市社会福祉協議会の高齢者食事宅配事業にも取り組み、ご利用者に合わせたきめ細かい食事は大変好評で心から御礼申し上げます。これからも日野市民の安心のためにその役割を果たしていただきますように、そしてマザアス日野が益々発展されますことをお願いして祝辞といたします。

## 特養 家族会を代表して

福場 賢

開設10周年に当り、日頃お世話になっている者の家族として心よりお祝いとお礼を申し上げます。私の母が入所したのは開設間もない平成11年6月10日でした。母は田舎で一人暮らしをしていましたが、認知症を発症し問題行動を起こすようになった為、東京に呼び、同居生活が始まりました。家族は決意も新たに必死で世話をしましたが直にそれは行き詰まり、家の中は悲壮感が漂い家庭崩壊寸前の雰囲気でした。それからは老人病院、老健、民間ホームを転々とし、特養の入所をひたすら待ち望む日々が続きました。そんな時マザアス日野に入所することができ、まさに地獄で仏と涙が出るほど嬉しかったことを今でもはっきりと覚えています。職員の方々に見守られ母は徐々に落ち

着き、マザアスでの10年は母の人生で恐らく一番心穏やかな日々になっていると思います。

人手不足や厳しい仕事にも係わらず、開設初年度からの職員の方が今も10数名在籍されていることはとても素晴らしいことです。マザアスが職員の熱意に応えてくれるだけの魅力を持った職場だからだと思います。そのようなマザアスの環境と皆様の熱意に支えられて母は頑張ってこられたのだと思い感謝の気持ちで一杯です。どうかこれからも「マザアス」という名前の由来どおり、多くの人を暖かく育む母のような大地のような存在であり続けてください。

## 絵画ボランティアを通じて

亀井 玲子・松井 きよ子

マザアス10周年おめでとうございます。私がデイサービスの絵画ボランティアを考えたまっかけは、母が脳梗塞のリハビリを受けていた時、母がスタッフの方々と懸命に励んでいる姿に感動し、そして感謝した事でした。ある本で「脳はある部分にダメージを受けたとしても、残された部分を意識的に動かすと、神経細胞がつながっていく」と読んだことがあります。そして、“継続は力なり”の言葉を信じ、私の好きな絵を通じて皆様と楽しい時間を共に持ち、少しでも生き活きと暮らす事が出来ればと思い、絵の友人の松井さんと二人で10年間続けてきました。

デイサービスを利用されている方から「絵を描く事を楽しみに待っていたよ。」「絵を描いていると、痛い事も忘れてるよ」「絵を家に持ち帰ると、家族が喜んで見してくれる」等の言葉に私達二人も励まされ、そして共に喜ぶひと時です。

何と言っても、白い紙に目の前の物を見て鉛筆デッサンをし、その上に水彩絵の具で色をつけていく過程でしっかり対象物を見ながら作品に集中して仕上げる事の素晴らしさを感じています。

回数を重ねていますと絵に対して向上心を持って下さり、また豊かな人生経験が絵を描きながら聞こえ、ついその話に花が咲く事もあります。このように楽しく時間を共有して、今では私達二人の道しるべと、生活のリズムの一部にもなっています。私達二人が互いに力を合わせ、そしてスタッフの方々もご協力下さったので10年間も続けられたとの思いでひとしおです。皆様の四季折々の絵を1階のフロアの壁にいつも展示していますので是非ご覧ください。

# 職員奮闘記

物井敬子（看護課）

桜の花が満開に咲いていた頃、マザアスは生まれました。

看護師として十年以上のブランクのあった私は、病院ではない高齢者施設で働く事は驚きの連続でした。

認知症のご利用者に対する声かけ一つもまともに出来ず悩みました。辞めたいと何度も考えました。そんな私が介護士の若いエネルギーを目の当たりにして、頑張らなくてはと考え、十年を迎えました。

看護師は日中のみの勤務です。介護士との連携なくしては、私達の仕事は活かされません。これからも各課との連携を取りながら、ご利用者がマザアスで心穏やかに過ごせる様に看護したいと思っています。

磯野悠子（デイサービス）

この10年で結婚し1児の母となりました。今の自分があるのも温かく育ててくださったご利用者、ご家族、職員の皆様のおかげです。

井上孝子（栄養課）

若い女性達と試行錯誤しながら立ち上げた厨房。貴重な経験でした。あたたかい人間関係とおいしい料理これが一番です。



おせち重

伊藤純子（生活介護課）

多くの出会いがあり・・・

あたたかい励ましのお言葉をたくさんいただいで・・・

10年間をマザアスで過ごすことが出来ました。ありがとうございました。今後ともよろしく願い致します。

黒澤信一（総務課）

畑に囲まれていた施設周辺も宅地化が進み、毎朝通学の子供達で賑やかになりました。取って付けた様だった施設の植栽も、今では風景に馴染んでいるように感じます。様々な変化についていくことで精いっぱい10年間でした。失敗を繰り返しながらも、たくさんのご厚意に支えられて節目の年を迎えることができました。ありがとうございました。今後ともよろしく願いします。

齋藤紀子（生活介護課）

今年は人生でも結婚という節目を迎えることになりました。これからも皆さんと喜びを分かち合っていきたいと思います。

正木直子（栄養課）

3人目妊娠中に受けた採用試験。汗だくで東久留米の坂道を登りました。合格した時の喜びは今も忘れません。さらに開設のドサクサ?に紛れて4人目を出産。その子供達も今10歳と8歳。この10年間は育児に追われ、職場の皆さんに多大な迷惑をかけてしまいました。恩返しは自分の仕事をしっかりこなして行くことだと思っています。たくさんの前向きな仲間に関われながらマザアスで働けてとても幸せなことだと思っています。これからは家庭、勉強、仕事と頑張りたいと思います。

## 祓川竜雄（生活介護課）

この10年で多くの出会いと別れを経験しました。その中で感じた事、教えられた事を心の中で形を作りながら次の10年を目指して行きたいと思います。

## 横野光江（看護課）

満10年、立ち上げから関わってきました。この間、いろいろな人との出会い別れ、時には笑い悲しみ、そのひとつひとつが今は思い出になります。毎日の仕事の中で常に今を大切に明日はないという気持ちで頑張っております。

## 渡辺香苗（総務課）

長いようで、短い10年でした。ご利用者や、ご家族、職員の笑顔に支えられて、私も頑張ろう！という気持ちになりました。

## 中島康博（生活介護課）

建設中の施設を前に、介護職への転身を決心してから10年。ご利用者や職員との数々の思い出がよぎり語り尽くせません。「ありがとう」に支えられ現在があります。ご利用者の人生に関わり、老いから学ぶ命の尊さや家族の有難さなど生活支援から得た経験は、介護職ならではの財産です。関わった皆様に感謝、感謝です。

時は流れても、一期一会の精神で、新たな歴史を刻んで参りたいと思います。



## 富田美津子（グループホーム）

知恵は現場にあり！  
特養、ヘルパー、グループホームと各場所で勉強し、心を磨かせていただき感謝しています。

## 古谷晋（生活相談課）

広いフロアには数人のご利用者。それよりも多い職員の人数…開設直後の施設の風景です。今では考えられません。あれから10年。多くのことが変わる中、変わってはいけないものがあることを、たくさんの利用者さんやご家族に教えられてきました。10年前からも、これからも、日々支えて下さっている、全ての方々に感謝です。

## 芳賀麻由子（栄養課）

この10年間で3回も育休を取得させて頂きました。改めて皆様に感謝です。これからの若き女性方！出産の壁を乗り越えて長く勤めて下さい。

## 河井茂雄（生活介護課）

開設から10年、マザアスで知り合い結婚したカップルが8組。マザアスは縁結びの施設かもしれません。

## 木下菜摘（生活相談課）

介護職を経て、現在は相談員として働いています。私としては、この10年は長かったなあと感じています。振り返ると、やはり介護職時代が心身共に厳しかったです。正直、もう辞めたい、現実逃避したいと思うことも多々ありました。それを何とか乗り越えて来られたのは、多くの出会いに支えられたからだ感謝しています。

# ○ マザアス日野 10年の歩み

平成6年10月 社会福祉法人 マザアス設立認可

平成7年5月 マザアス東久留米 事業開始



平成11年5月 特別養護老人ホーム  
マザアス日野 事業開始  
施設長 廣田實就任

デイサービス・センター  
マザアス多摩川苑 事業開始

6月 在宅介護支援センター  
多摩川苑 事業開始

9月 居宅介護支援事業所  
多摩川苑 事業開始



平成12年4月 マザアス日野  
施設長 今澤隆一郎就任

7月 ヘルパーステーション  
マザアス多摩川苑 事業開始

平成17年9月 認知症高齢者グループホーム  
たまだいら 事業開始

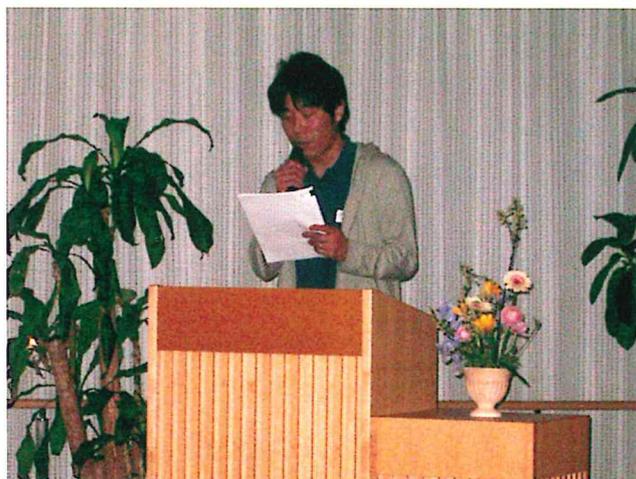
平成20年9月 小規模多機能ホーム  
みなみだいら 事業開始

平成21年4月 日野市地域包括支援センター  
多摩川苑 事業開始



今年も恒例の職員研究発表会が2月16日に開催されました。各部署とも業務の合間をぬって準備を重ね、試行錯誤した魅力ある発表でした。納得のできた部署、もう少し検討する時間が欲しかった部署など様々な反省があったことでしょう。しかし、多くの職員は回を重ねることでより進化していると感じたことと思います。明星大学人文学部人間社会学科の山井理恵准教授からも助言、講評をいただき、無事閉会となりました。

テーマ	発表部門
訪問介護における介護予防	ヘルパーステーション
消防計画	総務課
特養におけるリスクマネジメント	生活介護課 生活相談課
高齢者ソフト食Ⅱ 日常の献立に応用できる料理編	栄養課
試行錯誤を重ねて実現した心機一転新夜勤体制	生活介護課
家族と共に支え合うデイサービス	デイサービス
便秘者にセンナ茶飲用を試みて	看護課



発表風景

当日、出席した職員の投票結果と研修委員会での検討により、看護課の「便秘者にセンナ茶飲用を試みて」が7月に行われる、関東ブロック老人福祉施設研究総会に派遣されることになりました。看護課の皆さんのご健闘をお祈りします。

## 家族懇談会

マザアス東久留米・特養1,2階では、1月から3月にかけて、ユニットごとの家族懇談会が開かれました。

### ■ つつじヶ丘

1丁目では、2月15日(日)にご利用者のお誕生日を兼ねてロールケーキを食べながら、2丁目では、1月11日(日)に鏡開きを兼ねてお汁粉を食べながら、そして、3丁目では3月29日(日)にお花見を兼ねて和菓子を食べながら、職員とご利用者、ご家族と和やかなひと時を過ごしました。新潟や愛媛など遠方から参加して下さったご家族もいらっしゃいました。懇談会では、職員から最近のご利用者の様子などをお伝えし、ご家族やご利用者からは、以前どんな仕事をしていた等お話しを聞くことができました。会の中で、お正月に作成した手形と今年の抱負を記したものをお渡しするユニットもありました。ご家族同士の交流もみられ、普段は知ることのできないご利用者の様子、ご家族の思いなどを聞くことができ、とても貴重なひと時であったと思います。

介護員 師岡美由紀



### ■ 桜ヶ丘

懇談会では、和菓子やお茶を用意し、話に花を咲かせました。職員とご家族の自己紹介から始まり、ご利用者の昔の趣味や思い出、ユニットの状況、ご家族の希望やこれからしていきたいことなどを熱く語り合いました。すっかり話し込んでしまい、予定していた時間を過ぎてしまうユニットもある程でした。ユニット職員全員が参加し、ご利用者の普段と違う一面やご家族の思いを知ることができる、とても良い機会になりました。

1丁目 2月15日(日) チョコバナナをご利用者と一緒につくりました。

2丁目 1月18日(日) “もちどら” というどらやきを用意し、家族会から頂いた急須でお茶を入れました。

3丁目 3月20日（金） 桜もちを用意しました。桜を見るつもりでしたが、全く咲いていませんでした…。

介護員 和久真弓



## マザアス東久留米「施設内研究発表会」報告

1月30日、恒例の研究発表会が行われました。回を重ねるごとに内容の濃い充実したものとなってきました。今年は「介護付有料老人ホーム マザアス南柏」に従事する職員さんにゲストとして参加していただき、大変貴重な研究成果を報告していただきました。

参加人数111名

### テーマおよび発表部門

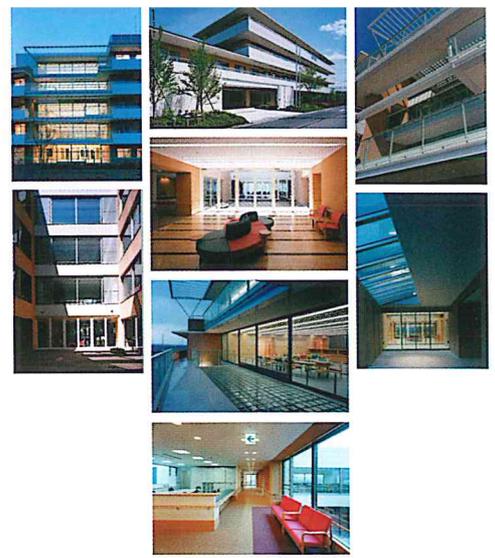
- ユニットケアの環境づくり：居心地の良い空間へ〔生活介護課〕
- パワーリハビリテーションの成果と今後の課題：リハビリテーションの実態〔通所サービス課〕
- 利用開始時の支援について：職種間連携に焦点を当てて〔生活相談課〕
- 認知症のある利用者の在宅生活を支える：コミュニケーションをとおして〔訪問サービス課〕
- グループホームでの身体状態回復についての報告：入居者2名の個別ケア事例より〔グループホームおがわ〕
- マザアス南柏 機能回復への軌跡：ご本人とご家族のご要望を受けて〔マザアス南柏 介護サービス課〕



7月に行われる関東ブロック老人福祉施設研究総会での発表はグループホームおがわに決定いたしました。

# MAKING OF COVER 5月号表紙写真

10年を迎えるマザアス日野の竣工時の写真です。まだ、ご利用者も職員もないピカピカの施設風景でホテルと見まちがえてしまうほどです。しかし、やっぱりご利用者、職員のいるマザアス日野がいいですね。



■ 特別養護老人ホーム マザアス東久留米  
TEL 042-477-7261 FAX 042-477-7500  
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

■ デイサービスセンター マザアス氷川台  
TEL 042-477-7263 FAX 042-477-7500  
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

■ ヘルパーステーション マザアス氷川台  
TEL 042-477-7260 FAX 042-477-0977  
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ グループホーム ひかわだい  
TEL 042-477-2150 FAX 042-477-2150  
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ 居宅介護支援事業所 マザアス氷川台  
TEL 042-470-1740 FAX 042-477-0977  
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■ デイサービスセンター マザアス大門  
TEL 042-470-0065 FAX 042-470-8024  
〒203-0011 東久留米市大門町2-10-5

■ 東久留米市東部地域包括支援センター  
TEL 042-473-9996 FAX 042-470-8024  
〒203-0011 東久留米市大門町2-10-5

■ グループホーム たきやま  
TEL 042-477-1525 FAX 042-477-1525  
〒203-0032 東久留米市前沢5-25-14

■ グループホーム おがわ  
TEL 042-349-0160 FAX 042-349-0161  
〒187-0032 小平市小川町1-113-8

■ 特別養護老人ホーム マザアス日野  
TEL 042-582-1661 FAX 042-582-1730  
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ デイサービスセンター マザアス多摩川苑  
TEL 042-582-1675 FAX 042-582-1730  
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ ヘルパーステーション マザアス多摩川苑  
TEL 042-582-1673 FAX 042-582-1730  
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ 居宅介護支援事業所 多摩川苑  
TEL 042-582-1672 FAX 042-582-1730  
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ 日野市地域包括支援センター 多摩川苑  
TEL 042-582-1707 FAX 042-582-1730  
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ グループホーム たまだいら  
TEL 042-589-3668 FAX 042-589-3669  
〒190-0062 日野市多摩平2-13-14

■ 小規模多機能ホーム みなみだいら  
TEL 042-594-5780 FAX 042-594-5781  
〒191-0041 日野市南平3-10-2

## 広報委員会の新年度スタッフ

田嶋精二・名取良子・野村明夫・関口乙彦・志村未散・渡辺恵・鈴木陽祐・宮田益代  
新メンバーになりました。さらに充実した「ひだまり」を配信したいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

## お詫び

先月号の施設長挨拶文の中で誤りがありましたので以下のとおり訂正いたします。  
(誤)「福祉はニーズに忠実に～」→(正)「福祉はニーズに誠実に～」

## ひだまり No.52 EDITOR'S NOTES 編集後記

### LEADER'S VOICE

無事、第52号を発行でき、ほっとしています。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。活字離れが進み、インターネットが広がるなか、年4回の「ひだまり」の内容に毎回、頭を悩ませています。そんななか、「紙という物質には何とも言えない温か味を感じる」と語る俳人の記事を目にしました。この言葉通り「ひだまり」でも単なる情報記事に終わらず、人間的温かみのある記事の掲載に努めていきたいと思えます。

### STAFF

#### マザアス広報委員会

発行責任者 高原敏夫  
編集責任者 田嶋精二  
広報委員 山崎宣子 大川奉宏 名取良子  
和久真弓 師岡美由紀

構成 田嶋精二

発行所 社会福祉法人マザアス  
〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-5-7  
tel : 042-477-7261 fax : 042-477-7500  
ホームページ : <http://www.moth.or.jp>